

様式第3号（第9条関係）

会 議 録

会 議 名	平成28年度第4回嵐山町男女共同参画審議会					
開 催 日 時	平成28年10月27日（木）				13時30分	
					15時00分	
開 催 場 所	嵐山町役場 205会議室					
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 （1）会議録の署名人の任命について （2）第3次嵐山町男女共同参画プラン（案）の検討について （3）パブリックコメントについて （4）第3次嵐山町男女共同参画プラン理念の公募について （5）その他 4 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		0人	
委員出欠状況	会 長	寺山サキ子	出席	委 員	山中 馨	出席
	会長代理	宮本 紀子	出席	委 員	番場 順子	出席
	委 員	藤野 哲男	出席	委 員	須永 圭一	出席
	委 員	松本 洋治	出席	委 員		
	委 員	引間 紀江	出席	委 員		
	委 員	大久保 勉	欠席	委 員		
	委 員	阿部 典子	出席	委 員		
その他出席者	青木課長			松浦主査		
事 務 局	伊藤副課長			江黒主事		

次 第	顛末（要点筆記）
1 開 会	青木地域支援課長
2 あいさつ	寺山会長
3 議 題 (1) 会議録の署名 人の任命について	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議事の進行については審議会条例に基づき寺山会長にお願いしたい。 <p>(寺山会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議録の署名について事務局から説明願いたい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、会議録署名委員については、名簿順で須永委員、松本委員にお願いしたい旨を説明し、了承された。
(2) 第3次嵐山町 男女共同参画プラン (案)の検討に ついて	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、資料に基づき第3次嵐山町男女共同参画プラン（案）について説明した。 <p>(寺山会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議を受けてプランの修正をしてもらっている。何か、他にも意見があれば言ってもらいたい。 <p>(松本委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念の公募については、「(仮)」となっているが募集するのか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料3で詳しく説明しますが、募集する予定です。 <p>(松本委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料3のような形で出すのか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料3はホームページ用ですが、このような形で募集します。ホームページの他に、広報で告知し、ポスターも掲示する予定です。 <p>(宮本会長代理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の文章をいれたのはいいと思うし、内容もいいと思う。ただ、他の文章と合わない印象があるので、言い回しを直したほうがいいのではないか。語尾の「いらっしゃいます」など、全体の表現とのバランスを考えると、ソフトすぎる印象を与えるのではないかと。 <p>(寺山会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ですます調で作っているが、最初の文章だけ丁寧語になっているので、違和感がある。言い回しの問題だが、少し気になる部分ではある。 <p>(須永委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「何故今も」という最初の文章は、とっつきやすいように入れているのか。その文章をうけて「いらっしゃいます」という言葉があると思うので、もし「いらっしゃいます」を直すなら最初の文章もなくてもいいのではないかと。 <p>(山中委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの提案だが、最初の文章を「1)」として別の項目にするのはどうか。また、文章中の「方」を「人」に統一した方がいいと思う。過去に、県で広報紙の担当をしていた時は、時事通信社の基準に合わせていた。文章のルールを統一した方がいいと思う。

(引間委員)

- ・「そういう意見もあります」とか「見られます」「考え方もあります」というように「人」というものから切り離し外在化するのも一つの案だと思う。

(阿部委員)

- ・項目を分けるとするなら、どこまでを「1)」とするのか。

(事務局)

- ・事務局からの提案ですが、最初の文章の番号をとって、項目外の文章として頭に持ってくるのはいかがでしょうか。
- ・文言が統一されていない部分は、統一を図ります。

(宮本委員)

- ・文章が悪いわけではなくて最初の文章が浮いているのが問題なので、それでいいのではないか。

(引間委員)

- ・ジェンダーベースドバイオレンスに関してだが、大きな枠としてジェンダーベースドバイオレンスがあり、ドメスティックバイオレンスというのはその枠の中にある。同格に扱ってしまうのは印象が違ふと思う。

(宮本会長代理)

- ・どう違うのか説明をお願いしたい。

(引間委員)

- ・DVは配偶者等に関する暴力であり、それらの暴力を包括する概念である。たとえば、デートDVというのは配偶者暴力防止法にあてはまらない。マタニティハラスメントなどもある。それらの暴力をまとめた大枠がジェンダーベースドバイオレンスとなる。

(宮本委員)

- ・「配偶者等弱い立場の方に」という表現が気になる。

(事務局)

- ・「弱い立場の人」というのを言いたいためにこの表現にしています。

(宮本会長代理)

- ・「等」の表現を「や」にした方がいいのではないか。

(山中委員)

- ・「弱い立場の人」を「配偶者」という表現にしなくてもいいのではないか。

(引間委員)

- ・あらゆる暴力は許されないという前提で、「配偶者等」という文言はなくてもいいのではないか。

(阿部委員)

- ・とったほうがいいと思う。
- ・現実には、女性から男性に対する暴力もある。

(引間委員)

- ・32ページの「女性を始め」を削った方がいいと思う。
- ・表記のゆれがあるので、統一した方がいいと思う。たとえば「取組」の送り仮名は、名詞のときは入らないが動詞になるとつける必要がある。そのルールは、嵐山町のルールがあればそれに従ってもらいたい。
- ・33ページ「いわれています」を「います」に直してもらいたい。

	<p>嵐山町には国の先をいってもらいたいと思う。 (阿部委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 32 ページの「女性」の次に「子ども」といれてほしい。 (山中委員) ・ 文章の表記に関する事で、「等」「など」とあるところを「等」に統一した方がいい。 ・ 31 ページの「女性の視点」を 32 ページの「女性ならではの視点」に合わせた方がいいのではないか。 (事務局) ・ 頂いた意見のとおり修正し、パブリックコメントを行います。修正したものを委員の皆様へ後日郵送させていただきます。
(3) パブリックコメントについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ パブリックコメントについて、事務局より説明 ・ 告知については、広報、町ホームページ、ポスターを使う。ポスター掲示に関しては町内の各公共施設とヤオコーなど商業施設を予定している旨を説明。参考としてポスター（案）を見てもらいたい。 <p>(寺山会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポスターはカラーにした方がいいのではないか。もっと目に付くようなデザインにした方がいい。 <p>(番場委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページに載せても、見る人は少ないのではないか。普段からホームページを見ない人は見ない。 <p>(宮本さん)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こういうことをやっているのよと口コミで知らせることも効果があるのではないか。自分の友人と話題に出たりするが、やはり皆文字が多すぎたり、文字が小さかったりするものは読む気にならないと言う。読みやすいチラシを作ったらどうか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝える側からすると、どうしても伝えたいことが多く、文章が多くなってしまう。公募しているので応募の方法なども記載したいため、文章量が多くなってしまいました。 <p>(松本委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小さなチラシを窓口に置くのはどうか。 <p>(引間委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「パブリックコメントを出そう」というところまでは非常にハードルが高いが、まずは周知が大切だと思う。「詳しくはWEBで」という形にして、こういう取組をしていることを知ってもらうことが重要。 ・ 出そうとしてくれる方は少数かもしれないが、まずは知ってもらうこと、手にとってもらうことが大切だと思う。 <p>(須永委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページにカウンターなどはつけられないのか。どれくらいの人が見ていてくれるかチェックすることはできないか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今のホームページのシステム上、カウンターを表示させることはできません。しかし、何人見たかは確認できます。

<p>(4) 第3次嵐山町男女共同参画プラン理念の公募について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次嵐山町男女共同参画プラン理念の公募について、事務局より説明 (宮本会長代理) ・基本理念を応募した方に対して、プレゼントなどはあるのか。 (事務局) ・予算もなく、厳しいのが実情です。 (藤野委員) ・他の自治体では結構やっているようだ。物で釣るわけでもないが、何かあってもいいのではないか。 (宮本会長代理) ・プレゼントがあった方が本気で考えてくれるのではないか。 (須永委員) ・学校へは募集をかけるのか。 (事務局) ・募集の通知を配布することは考えています。ただし、授業や宿題として行ってもらうのは難しいそうです。対象は、5~6年生から中学生を考えています。 (阿部委員) ・「基本理念」を公募するが、「基本的理念」もあり、ややこしいと思う。 (事務局) ・条例からもってきているので、「基本的理念」という言葉はそのまま使っている。確かに、ややこしい部分はあると思う。 (松本委員) ・分けて考えられた方がいいと思う。ややこしいと思った。 (阿部委員) ・説明を聞けば分かるが、普通の方には難しいのではないかと感じた。
<p>(5) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュール、次回会議日程について事務局より説明した。 (事務局) ・次回の審議会は12月20日(火)午後1時30分より 205会議室で行います。 (意見なし)
<p>4 閉 会</p>	<p>宮本会長代理</p>
<p style="text-align: center;">上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p style="text-align: center;">平成28年12月20日 署名委員 <u>須永 圭一</u></p> <p style="text-align: center;">平成28年12月20日 署名委員 <u>松本 洋治</u></p>	